

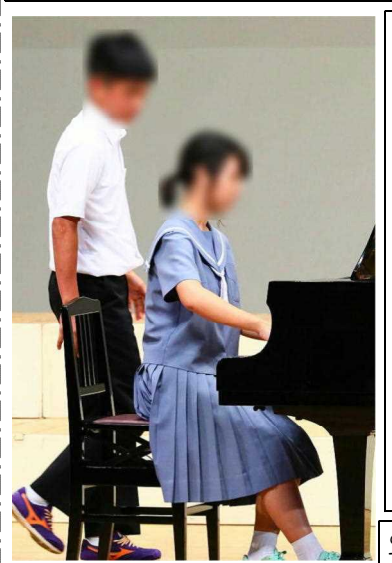
成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより120号
R1. 10. 29



輝くためのハーモニ

最初、私は3年1組を信じきれなくて、ステージが上がると声が小さくなるのではないかと、大丈夫なのか、と心配でした。ただ、日が経つにつれて、集中してきて歌い方も工夫したりして、どんどん良くなっていききました。そして、本番は自分の予想を遙かに超えていきました。みんなで合わせて真剣に歌っている姿は、とてもカッコ良かったです。リハーサルでは、Tさんと少し合わないところがあったので、お弁当を食べた後も練習しました。



たこのない感情がもらえました。自由曲の終わり頃には、どがガラガラになったけれど歌い切れたので、終わって後、Sさんから「おまえ、よく頑張った。一緒に歌えて良かった。」と言われて、僕は、なんかグラブよりも嬉しくなっていて、いいものを得たと思いました。

これからの音楽や急に決まった地区での合唱も、もっと技術を磨き、合唱の楽しさを感じていけたら、と思います。

(I・Hさん)



僕は今回の合唱コンクールで、グラブよりも良いものを得たと思っています。1・2年の頃は、みんなから声だせよと言われ、声を出しても音程がずれているから合わせろと言われてしまい、苦しい思いをしました。僕の中では歌が好きでもなく、得意でもなかったです。最初は歌わずに遊んでいました。すると、SさんやDさん、Sさん達が声をかけてくれて、一緒に歌うようになったのです。

言葉がけで、緊張していた気持ちが和らぎ、より集中していったのを覚えています。彼は、すれやすい箇所をうまく合わせられた時には笑顔でうなずいたり、声を小さくする箇所では小さく振ったり、男声メインや女声メインの所では、体を向けて振りつたりして、とても気持ちを込めて指揮をしてくれました。指揮と皆の声がひとつになって響いていていたので、弾きながら感動していました。3年1組しか見えない景色が、そこにあるりました。

実行委員のSさんやパートリーダーのみんながまとめたので、感謝の気持ちで一杯です。3年1組で良かったなと思いました。グラブを取り戻したことは悔しかったけれど、地区の合唱には出場できるということなので、また、このメンバーで頑張ると、全沖を目指していきたいです。

(K・Kさん)



歌っていくと、だんだん声が出るようになります。M先生にも音程の取り方をアドバイスされたり、Tさんから「声は出せているから、音程をもう少し合わせられれば大丈夫。」と言ってくれたので、真面目に取り組むようになりました。

本番前のリハーサルの時は、少し早くなってしまったので、お昼後にSさんやAさんがゆっくり歌うように意識させてくれたり、「君が歌わないと1組は負けるぞ。」とM先生が励ましてくれたので、とても嬉しかったです。

本番では、今までちょっとずれていた音も合っていて、ソプラノやアルトもいい感じで、僕はそれがとても楽しく、今までの合唱コンクールでは味わったことのない感情がもらえました。

3年生の合唱とは、どういうものなのかを考えて取り組んできた。コンクールが近づいて、皆の意識も高まってきました。合唱コンクールで舞台上に立った時のみんなの歌声は、今までで一番いい歌声だったと思います。惜しくも、グラブはとれませんでした。頑張ってきたので悔いはありません。

(A・Sさん)